



市長式辞では、入山欣郎市長が、市民の皆さんの健康とまちづくりへの協力をお願いするとともに、これからの大竹の発展への決意を述べた。



(上・左)二階堂和美さんと大竹市民吹奏楽クラブによるステージ。「大竹で生きている」のほか、市制施行30周年「若人の集い」のときに制作された「私のまちおおたけ」や、二階堂さんの代表曲「いのちの記憶」も披露された。

(右)軽快な語り口で、スムーズに司会進行してくださった田中俊雄さん。



## 大竹市の還暦を祝う

8/31

### アゼリアホール

市制施行60周年記念式典が開催され、来賓の方々の式辞のほか、昔の大竹の風景や市制施行60周年市民提案事業を紹介する映像が披露された。

二階堂和美さんと大竹市民吹奏楽クラブによるアトラクションステージでは、新しいイメージソング「大竹で生きている」も披露され、式典を盛り上げた。



会場の外では、60周年市民提案事業として大竹観光協会が行った「ふるさとおおたけフォトコンテスト」の入選作品が展示された。



(上)明るく楽しい音楽に誘われて、たくさんの人が集まった。

(左)軽快なギターの伴奏にのせ、イメージソングを披露した、政近さん。

(下)アフリカの民族楽器、ダンス、詩など多彩なパフォーマンスで観客を魅了した、MAKIさん。



9/6

## 音楽の力でまちを元気に

### 大竹駅前付近

市制施行60周年市民提案事業として、4月から始まった「音楽喫茶おおたけ」がフィナーレを迎えた。小雨が降る中、たくさんの人で賑わい、観客はバグパイプの演奏や昭和の歌謡曲に酔いしれた。

Oh!バンブー倶楽部企画の公募による大竹市イメージソングは政近隆義さん(広島市在住)作詞・作曲の「ふるさとに吹く風…大竹」に決定。ゆったりとして温みがある曲で、観客はギターの伴奏に合わせ、一緒に口ずさんでいた。

